

一株運動、再び活発に

“公害”以外にも飛び火

反軍需や労働争議にがり切る会社側

株主総会へ乗り込んで企業責任を追究しようとして、「一株運動」が再び活発に動き出した。三月期決算会社以後も運動を続けている

水俣病を告発するチツソの一株株主の数は九千人前後に達する見込み。さらに、ベ平連は「反軍需産業」の旗を掲げ一株運動で初めて三重工に挑戦、系列会社の労働争議でもめているフランスベッドでも一株運動が起り、一株株主に石橋社会党書記長も名を挙げている。五月末の株主総会シーズンには、一株運動の炎は公害企業以外にも燃え広がろうだ。

「三重工はしんどい相手だ。チツソとはわけが違つ。株主総会をつぶせるとか、軍需生産をやめさせられるとかいう甘い考えはない。しかし、なんとか反軍需産業闘争のノロンを上げたい」と、吉川勇一事務局長は語る。



3月期決算会社の名義書き換え最終日を控え、一株株主の名義書き換え請求書作りで大忙し(ベ平連で)

チツソの場合、東京・水俣病を告発する会だけで、二十六日までに約八百人の名義書き換えを終え、三十一日までに二千人程度の一株株主が新たに生まれる。福岡でも七八百人、熊本、名古屋で各二百人程度など全国で三千五百人近く見える見込み。前期の昨年九月末が約五千五百人だったから、合計九千人近い大部隊になるわけだ。

△日本鋼管公害反対千人委員会(川崎市) すでに九万株程度の委任状を集めたといわれ、五月の総会に参加する見込み。

ベ平連は「軍需産業をつぶせ」と三重工に白羽の矢を立てて受けて立つ会社側はどことも困り顔。チツソの久我取締役総務部長

△横浜貨物線反対同盟連絡協議会 工事を受注している三井建設、鉄建建設、船谷組の株式各二千株を取得、五月の三井建設が鉄建建設の総会で建設工事の中止を訴える予定。

「三重工はしんどい相手だ。チツソとはわけが違つ。株主総会をつぶせるとか、軍需生産をやめさせられるとかいう甘い考えはない。しかし、なんとか反軍需産業闘争のノロンを上げたい」と、吉川勇一事務局長は語る。

△地下鉄駒込駅設置委員会(東京都) 玉川電車撤去後に東京電鉄が進めている地下鉄の駅の設置場所がおかしいと、五月の総会に再び大卒参加することを検討中。

受けて立つ会社側はどことも困り顔。チツソの久我取締役総務部長